

天理市埋蔵文化財センターだより
Vol.16

平成25年度夏の文化財展 『発掘の現場から -地下に眠る天理の昔々-』

横穴式石室 探訪

天理市内の横穴式石室

◎平成25年度夏の文化財展

横穴式石室探訪

—天理市内の横穴式石室—

平成25(2013)年7月6日(土)~28日(日)

※ 9:00~17:00

※ 8日(月)、15日(月・祝)、16日(火)、22日(月)は休館

天理市文化センター

1階展示ホールにて

◎文化財講演会と展示解説

7月14日(日)14:00~

1階展示ホールにて

天理市教育委員会文化財課がこれまでに実施した市内の遺跡の発掘調査により、多くの成果が得られてきました。それらの成果の一部について、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の埋蔵文化財について理解を深めていただけるように努めています。

今回の「センターだより」は平成25年度夏の文化財展の内容にあわせ、天理市内に数多く所在する古墳時代の横穴式石室をご紹介とともに、関連するこれまでの発掘調査成果を振り返ります。

横穴式石室 探訪

天理市内の横穴式石室

天理市には大和古墳群や柳本古墳群など古墳時代前期(3~4世紀)の大型古墳群が集中して立地する一方、後期・終末期(6~7世紀)の古墳も多数存在しています。今回は古墳時代後期から終末期の代表的な墓のつくりかたである横穴式石室をご紹介いたします。



横穴式石室 各部の名称



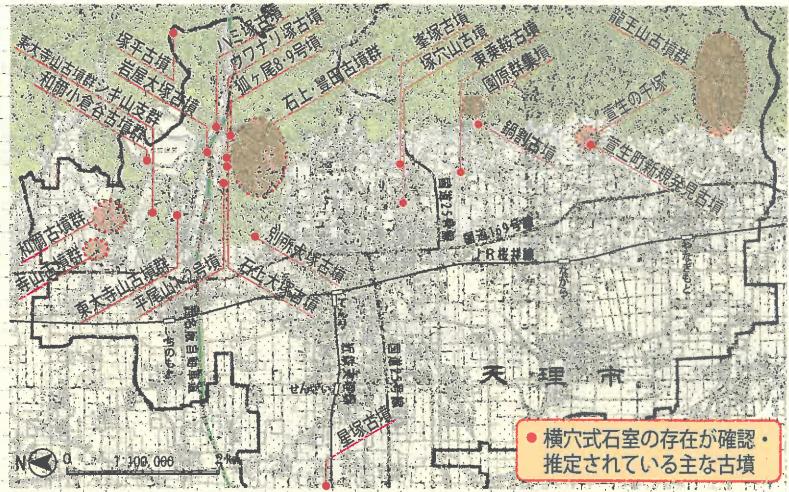
東乘鞍古墳



ウワナリ塚古墳



峯塚古墳



横穴式石室の出現

横穴式石室は古墳の側面に入口を設け、石材を組み合わせて造られた埋葬施設です。一度塞いだ入口を再び開くことによって追葬(新たな棺を運び込むこと)することもできます。

日本の古墳は伝統的に竪穴系の埋葬施設(墳丘頂上の竪穴に棺を納めるもの)をもっていましたが、古墳時代の後半になると朝鮮半島の影響のもとに横穴式石室が出現し、後期・終末期(6~7世紀)には横穴式石室に主役が交代します。追葬が困難な竪穴系の埋葬施設から、追葬の容易な横穴式石室に移り変わったことは、死後の世界に対する人々の考え方にも大きな影響を与えたといわれています。

天理市内の横穴式石室

天理市内には図面が作成されたものだけで100基以上の横穴式石室があり、未調査の古墳はさらに数百基あります。龍王山古墳群や石上・豊田古墳群には横穴式石室を持つ古墳が集中するほか、近年の調査で和爾地域にも同様の古墳が多数あることがわかつてきました。

主な大型横穴式石室

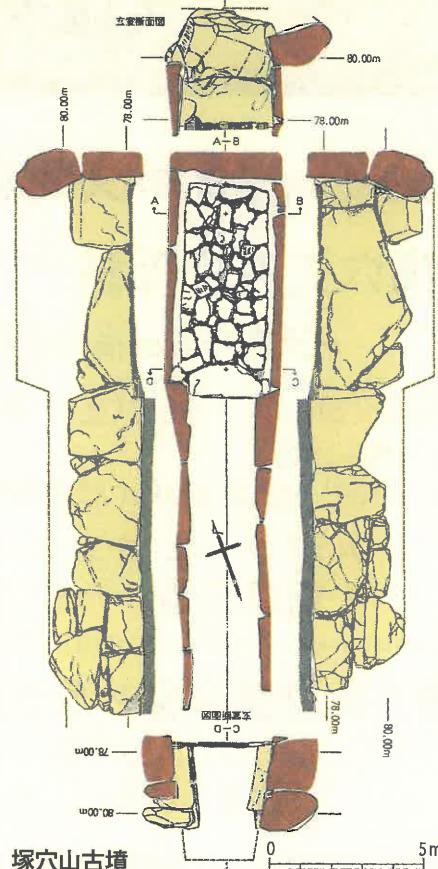
東乘鞍古墳(杣之内町)には全長約10m、高さ約3.3mの横穴式石室があります。6世紀初頭のもので奈良盆地における初期の大型石室のひとつです。石室内には今も家形石棺が残されています。

ウワナリ塚古墳(石上町)には全長約10m、高さ約3.6mの石室があります。6世紀中~後葉と考えられています。

塚穴山古墳(勾田町)の横穴式石室は全長約17mに及ぶ巨大な石室です。天井石は失われていますが、石材が大型化した終末期の石室の特徴がわかります。

峯塚古墳(杣之内町)の石室は全長約11mで、花崗岩の切石を用いた美しい石室です。塚穴山古墳に後続する7世紀代の大型石室です。

塚平古墳(岩屋町)も同時期の石室として知られています。



塚穴山古墳

横穴式石室の発掘調査事例～天理市教育委員会による調査成果～

寺山古墳群 [和爾町 昭和57年度～平成4年度]

墓地の造成計画に伴って奈良県立橿原考古学研究所と天理市教育委員会が調査をおこない、古墳時代中期後半～終末期の古墳33基が見つかりました。古墳時代後期に築かれた古墳の多くは小規模な横穴式石室を有するものでしたが、大部分は後世に墳丘が削り取られており、石室の石材も抜き取られているものがほとんどでした。



寺山古墳群



平尾山2号墳



2号墳 遺物出土状況



上空から見た1号墳



1号墳 墳丘裾の埴輪列



平尾山1号墳

平尾山1・2号墳

[石上町 2号墳:昭和61年度・1号墳:平成7年度]

2号墳は市道拡幅事業に伴って昭和61年度に調査がおこなわれ、玄室長約3.3m、幅約1.5mの横穴式石室が見つかりました。石材の大半は既に抜き取られていましたが、奥壁付近に副葬された須恵器や土師器が見つかりました。

1号墳は水道配水池建設に伴って調査が実施されました。古墳は径約23mの円墳で、横穴式石室の一部が残存していました。玄室と羨道をあわせた全長は6～7mと推定され、墳丘裾に埴輪列も確認されました。1号墳・2号墳ともに6世紀中葉の築造と推定されています。

東大寺山古墳群シギ山支群 [櫟本町 昭和62年度～平成4年度]

土地の造成事業に伴って調査がおこなわれました。標高119mの最高点から西に延びる尾根筋上に7基の古墳(1～7号墳)が築かれています。いずれも径20m前後の円墳で(3号墓を除く)、それぞれ南向きに開口する横穴式石室を持ち、6世紀後半の築造と推定されています。この付近では昭和45年度のシャープ総合開発センター建設時にも多数の横穴式石室が見つかっています。



シギ山支群1号墳



狐ヶ尾8号墳



8号墳 石室の側壁



8号墳 石室の床面



8号墳 馬具出土状況



8号墳 出土した副葬品

石上・豊田古墳群狐ヶ尾8・9号墳

[石上町 平成3年度]

水道配水池建設に伴って調査が実施されました。標高150m前後の丘陵上に2基の古墳が並んで築造されており、8号墳には南向き、9号墳には西向きに開口する横穴式石室が築かれています。

8号墳は径約20mの円墳で、石上・豊田古墳群では最大規模のものです。見つかった横穴式石室は玄室長約4.3m、全長約8.2mで、奥壁・側壁の大部分と天井石の一部まで残存していました。石室内からは須恵器や馬具など多量の副葬品が出土しています。出土した遺物から6世紀後葉の築造と推定されています。

出動！発掘現場レポート!!

平成24年度下半期の調査

天理市教育委員会は平成24(2012)年度下半期に発掘調査を7件(うち上半期からの継続調査1件)件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

■平成24年度 名阪道路(天理地区)〔上半期から調査を継続〕

道路拡幅に伴って南六条町・喜殿町内で調査をおこないました。埋没古墳の周濠や中世の井戸などが見つかりました。

■小路遺跡第5次

宅地造成に伴って調査をおこないました。隣接地の市道建設に伴う調査時と同様に、古墳時代の居住域の一部が見つかりました。

■西乗鞍古墳

石碑移設に伴って調査をおこないました。小面積の調査でしたが、墳丘の土層を確認することができました。

■平等坊・岩室遺跡第35次

宅地造成に伴って平等坊町内で調査をおこないました。縄文時代晚期から奈良時代にかけての河川の跡が見つかりました。

■嘉幡遺跡第3次

店舗建設に伴って調査をおこないました。平安時代の溝が見つかったほか、弥生～中世の遺物が出土しています。

■平成24年度 別所丹波市線

市道別所丹波市線事業に伴って豊田町内で調査をおこないました。弥生～中世の各時代の遺物が出土しました。

■和爾森本遺跡

工場建設に伴って森本町内で調査をおこないました。弥生時代後期から奈良時代にかけての溝や柱跡、井戸などが見つかりました。

平成24年度の調査成果は
今年度の冬の文化財展で
展示するよ！



市役所1階 内山永久寺復元模型展示のお知らせ

天理市杣之内町にかつて所在した内山永久寺は、平成26(2014)年に創建900年を迎えます。天理大学歴史研究会が制作した内山永久寺の復元模型を現在展示しています。

会場：天理市役所1階ロビー

期間：平成26(2014)年3月28日(木)まで

※土曜、日曜、休日は閉鎖しています



※「天理市埋蔵文化財センターだより」Vol.17は、平成25年度冬発行予定です。
お楽しみに！！



■平成24年度下半期の調査遺跡



■小路遺跡第5次
遺物出土状況



■平成24年度別所丹波市線
調査地遠景(東から)



■和爾森本遺跡
調査区全景(北西から)

発行◆天理市教育委員会 文化財課

天理市埋蔵文化財センター

〒632-0017 奈良県天理市田部町320

Tel・Fax 0743-65-5720

印刷◆富光株式会社